「応援隊事業」実施報告書

団体・ 企業等名	独立行政法人国際協力機構	関西センター(JICA関西)

実施日	令和5年11月7日(火)	実施学校名	桜井市立城島小学校			
実施場所			対象学年	小学校5年	参加児童·生徒数	60名

★応援隊事業の内容

支援形態。	出前授業 見学/校外学習 資料提供 その他 ()			
メニュー	国際協力出前講座							
	備考							
その他 特記事項	対応教科等							
	テーマ		安全·防災	金融·経済	国際理解	福祉·医療 ·介護	伝統·文化 ·芸術	野外体験
			環境教育	食育	職業教育・ キャリア教育	情報教育・プ ログラミング	理科実験	スポーツ
			生活習慣	マナー	ものづくり	情報モラル・ リテラシー	外国語	地域理解
			その他()
	必要経費(記	謝金は除く)。	不要	要()
	旅費(講師・スタッフ等)		不要	要()
	土曜日等の活動		可	不可	応相談			
	対象		幼稚園・ 認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
	(学年の限定等)							
	対象	.地域	北西部	五條·北部吉野	北東部	南西部	南東部	

★応援隊事業を実施した団体・企業の感想

- ① そう思う
- ② ややそう思う
- ③ どちらでもない

- ④ ややそう思わない
- ⑤ そう思わない
- Ⅰ 園児・児童・生徒は楽しそうに活動していた。

- 2 園児・児童・生徒と企業等関係者のコミュニケーションは、うまくとれていた。
- 1 (I)

3 学校との連携・協力はスムーズにできた。

2

4 事業を行うのに、適した場所であった。

5 事業内容は、対象園児・児童・生徒に適していた。

- ①
- 6 「応援隊ネットワーク」への登録、あるいはメニューフェア以降、依頼件数は増えた。
- 3

7 その他(感想・要望)【任意】

事前の学校側との打ち合わせを通じて、テーマや方向性、伝え方を講師陣でそろえることができ たのが良い成果に繋がったと思います。

打ち合わせでアイデアを出し、それを元に当日の進め方や内容を決めることができたので一貫 性のあるプログラムになったと考えます。

当初はJICA海外協力隊の経験談を話す予定でしたが、任国のボリビアに加えて他の国の事例 もとりあげることで異文化との接点を作りSDGや子どもたち目線でできることを考えられるよう に展開しました。

パワーポイントを用いての発表をした中でも、動画資料の関心が非常に高かったように思えま

事前にSDGsやボリビアについて学習の時間をとっていただけたので、興味をより持ってもらう機 会になったのではないかと思います。

今後の展開として、一回きりの発信に終わらせず、子どもたちが後から考えたことに対するフォ ローや壁打ちまでできればより学びが深くなるのではないかと感じました。

8 写真【任意】 ※HPに掲載可能なもの